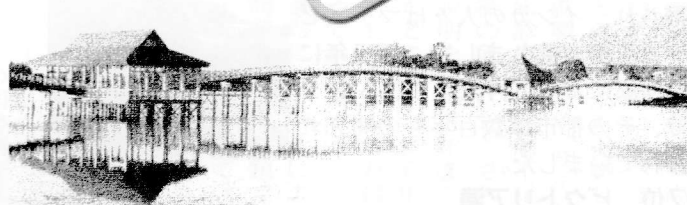
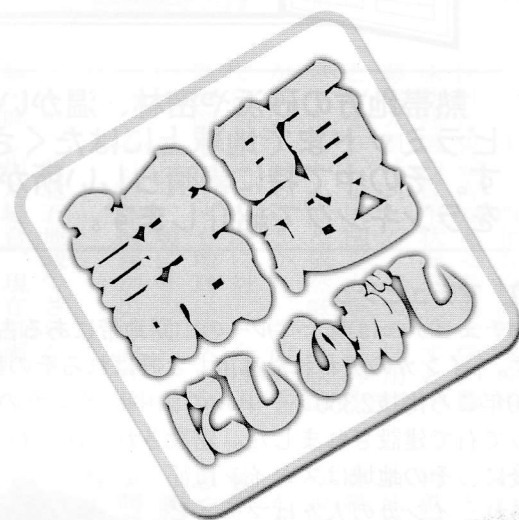


クリーン週間を実施

4月14日(月)～20日(日)まで、全町にわたりクリーン運動が展開されました。各小学校、中学校、高校、町内会、子ども会それぞれの地区をこの期間に清掃し、町の美化に努めました。胡桃館地区では、4月20日(日)にクリーン運動が行われ、学区にある4つの子ども会(山道、中野、胡桃館、境)が一斉に廃品回収とゴミ拾いを実施し、地区の大人と子どもが一緒になって家の前に出されている資源ゴミ(古新聞や一升瓶など)を集め、また道路わきにあるゴミをひとつ残らず拾い集めました。回収場所にたくさん集まったゴミの山に子どもたちは、「わだちこったに集めだんだ、すごいべ」と自慢げに話して、さわやかな汗をかきながら頑張っていました。



△廃品回収に精をだす山道子ども会の子どもたち



あなたの地区の楽しい催しや出来事などを
役場総務課まちづくり班までどしどしお知らせ
ください。(☎22-2111 内線263)

子どもたちへ夢の贈り物

4月19日、富士見小学校(工藤志津子校長)の児童へ、同校の先輩にあたる木筒小学校卒業生の秋庭俊二さん(海上自衛隊 砕氷艦しらせ 飛行科 三等海曹)から、「南極の水」が贈られました。当日は全児童による「南極の水集会」が開かれ、須々田教頭先生が南極のお話をされ、一緒に贈られた「砕氷艦しらせ」のDVDを鑑賞し、最後に児童全員へ氷がプレゼントされました。当日ご本人がいらっしやらなかったため、お手紙をご紹介します。

拝啓 富士見小学校 様

先日は突然の電話を失礼しました…中略… 私は海上自衛隊に入隊し、入隊したからには「砕氷艦しらせ」に乗り南極へ行こうと決めていました。今回その夢がかなない南極に行くことができ、様々な行動で自然の素晴らしさを改めて実感しました。ぜひ、自分の母校に「南極の水」をとの思いがあり、残念なことに自分の母校はなくなりましたが、その素晴らしさを少しでも皆さんにも感じていただきたいくて、「南極の水」を送らせていただきました。急な願い事に心よく受け入れてくださったことを真に感謝いたします。

敬具

秋庭俊二



△約1万年前の氷にふれ、少し南極に近づけたかな

全 学 校 同 日 の 入 学 式

4月7日（月）管内の全小学校、中学校の入学式が一斉に執り行われました。今年度の新入生は、小学生146（男子70人・女子76人）、中学生166人（男子83人・女子83人）となりました。

また、同日には、鶴田高等学校（新入生70人）の入学式も執り行われ、まさに入学式一色の1日になりました。父母の方には、1日に入学式を2度出席された方もいらっしゃったようです。

菖蒲川小学校（川浪定雄校長）では、新入生15人（男子6人・女子9人）を迎え、「たくさんのともだちをつくり、楽しい学校生活を送りましょう」と校長先生がお話されると、新入生たちは真剣なまなざしで聞いていました。



△校長先生のお話を真剣に聞く新入生（菖蒲川小学校）



△緊張した面持ちで査察を受ける消防団員（山道分団）

春の火災予防運動

4月14日（月）～20日（日）まで、『火は見てる あなたが離れる その時を』を統一標語に春の火災予防運動が実施されました。

4月20日（日）には、鶴田消防署と鶴田町消防団が、管内全域を6台の消防車両でパレードを行い、町民に火災予防の呼び掛けを行い、また、中野町長と消防団本部（下山正彦団長）が15分団を巡回し、消防施設と消防機械器具の査察点検を行いました。各分団とも、服装・消防用水・機械器具・屯所内外の整備の査察を受け、異常なしで査察を終了しました。消防団は年間をとおして、火災予防巡回をし、町の火災発生の防止に努めています。

県内初のリハビリマシーン

4月14日（月）、鶴田町社会福祉協議会（中野堅司会長）が今年2月に導入し使用しているリハビリマシーンを鶴遊館にて一般披露しました。このマシーンは「太鼓の達人」というゲーム機を高齢者のリハビリに活用したもので、機械から流れてくる音楽を聞きながらテレビ画面の表示に合わせて太鼓を叩くものです。楽しみながら体を動かすことができ、さまざまなリハビリ効果が期待できる優れたものです。現在は主にデイサービスのリハビリ用として使用していますが、社会福祉協議会では、ぜひ、たくさんの方に知っていただき、このマシーンを活用していただきたいとのことです。



△このマシーンの時間を楽しみにしている鶴遊館の利用者